

## 要望書

**関電は今年末期限の中間貯蔵の計画地点を確定できませんでした。  
福井県知事との約束通り、高浜1・2号の再稼働の中止、  
美浜3号の運転停止を関電に求めてください**

高浜町長 野瀬 豊 様

関西電力は6月12日、使用済MOX燃料の再処理実証研究に伴い、高浜原発に貯蔵されている使用済MOX燃料約10トン、使用済ウラン燃料約190トンを、2020年代後半にフランスに搬出する方針を明らかにしました。関電はこれについて「中間貯蔵と同等の意義がある」「今年末までに計画地点を確定するという福井県知事との約束はひとまず果たされた」と述べています。国もこの考えを追認しました。

これに対し、6月19日の美浜町議会原子力発電所特別委員会、23日の福井県議会・全員協議会では、説明に来た国等に対して批判が噴出しています。「計画地点が確定したとする関電、国の説明は理解できない」、「県民を愚弄している」、「強弁だ」等々。副知事も23日国に対し、「県民からは根本的な問題解決でなく先送りではないかとの批判の声が出ている」と述べ、再回答を求めました。このような批判は当然のことで、私たちも関電・国の計画を認めることはできません。

関電が今年末までを期限として約束していたのは、2030年頃に2,000トンU規模で操業開始とする中間貯蔵施設の計画地点を確定することでした。今年3月末時点で、高浜・美浜・大飯原発には合計で3,680トンUの使用済燃料が貯蔵されています。今回搬出するとされたのはその約5%にすぎません。さらに、今回のフランスへの搬出は、中間貯蔵とは関係ないと電事連会長も認めています。関電は2021年2月に、今年末までに計画地点が確定しなければ、その後確定できるまでの間、老朽原発3基（美浜3号、高浜1・2号）の運転は止めると知事に約束しました。

今回の関電の計画は、福井県との約束を反故にして、老朽炉を動かし続けるというものです。このようなことは認めることができません。約束通り、高浜1・2号の再稼働を中止し、美浜3号の運転を停止すべきです。これ以上、行き先のない使用済燃料を生み出すことは許されません。

私たちは6月初めより、高浜町の半数以上約2,500世帯（6月12日現在）に戸別訪問・チラシ配布を行ってきました。多くの町民から老朽原発の再稼働への不安の思いなどを聴きました。高浜1・2号の再稼働及び、関電が約束を果たさなかったことについて、住民説明会を開き、町民の声を聴くべきではないでしょうか。

## 要望事項

1. 高浜1・2号の再稼働と関電の今回の計画について、町民説明会で町民の声を聴いて下さい。
2. 関電は今年末期限の中間貯蔵の計画地点を確定できませんでした。福井県知事との約束通り、高浜1・2号の再稼働の中止、美浜3号の運転を停止するよう関電に求めてください

2023年7月4日

ふるさとを守る高浜・おおいの会/ 安全なふる里を大切に作る会（若狭町）/ 原発なしで暮らしたい宮津の会/ 避難計画を案ずる関西連絡会（連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会）

この件の連絡先

ふるさとを守る高浜・おおいの会

美浜の会：大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581